

# 全日本花卉装飾技術福島大会



1月23日に開催された第34回全日本花卉装飾技術選抜選手権「福島大会」で、最高の金賞・内閣総理大臣賞に高橋友一さん、銀賞・青山社長賞に市川圭人さんが選ばれました。

受賞された2人は、1月28日観月台文化センターで太田久雄町長に受賞の報告をし、それぞれの受賞作品を観月台文化センターの玄関に展示しました。高橋さんは今回が3回目の挑戦、市川さんは初めての挑戦で栄光に輝きました。

- 1 左から高橋友一さん、太田久雄町長、市川圭人さん
- 2 高橋友一さん作品：アレンジメント
- 3 高橋友一さん作品：花束
- 4 市川圭人さん作品：アレンジメント
- 5 市川圭人さん作品：花束



## 公立藤田総合病院内に「消化器病センター」を開設しました

1月から公立藤田総合病院内に、消化器病を患っている患者さんを外科と消化器科がタッグを組んで診察を行う「消化器病センター」が開設され、センター長として、小暮道彦先生をお迎えしました。センター長の小暮先生からセンターについてお話を聞きました。



消化器病センター長  
小暮 道彦先生

この度消化器病センター長に就任しました。小暮道彦です。私は福島医大臓器再生外科に29年間在籍し、おもに食道癌など食道疾患を中心に消化器病の手術・診療を行ってきました。病院は常勤の消化器内科医だけで4人という県内でも有数の病院です。外科は私を含め3人態勢となり、7人のパワーを結集し消化器疾患のプロフェッショナルとして皆さんの健康をお守りするのが役目です。我々には内科・外科の壁がなく診療できる利点があります。当院消化器内科の造影検査や内視鏡診断・治療は県内でもトップクラスであり、外科の方もベテランの先生方が布陣しております。これらの先生方と毎週の症例検討を重ねて患者さんの診療を行っています。よろしくお願いいたします。

# 町イチ！村イチ！2014に出展！ ～東京の真ん中で国見町をPR～

1月11日・12日に、東京有楽町の東京国際フォーラムで開催された、全国の町村が自慢の物産やご当地グルメを展覧・販売する「町イチ！村イチ！2014」に、国見町が参加、太田久雄町長が町の青年農業者・ミススピーチキャンペーンらと国見町産品のトップセールスを行いました。

会場には、町と災害時相互応援協定を結んでいる北海道ニセコ町も出展しており、太田町長が片山

健也町長らにあいさつ。お互いの盛況を祈念しました。

会場の特設ステージでは、太田町長が、くにみもたん、ミススピーチキャンペーンクルーと一緒に登壇し、町のPRや国見産品の安全・安心を来場者にアピールしました。来場者は、「くにみ？どこ？」と太田町長の話に聞き入っていました。

出展ブースでは、町長が先頭に立って販売。昨年8月に実施し

た「国見女性100人応援団ツアー」の団長で公認女性サポーター会長の元全日本バレーボール選手、三屋裕子さんとツアー参加者も駆けつけ、商品が飛ぶように売れました。また、温かい励ましの言葉をいただきました。

用意した、あんぼ柿、りんご及び新米は、2日目の昼過ぎに完売し、東京の真ん中で、国見産品の良さをPRすることができました。



来場者に国見町産のりんごをPRするミススピーチ

応援に駆け付けてくれた、三屋裕子さんとツアー参加者

## あんぼ柿の全量非破壊検査の結果をお知らせします

町の特産品「あんぼ柿」は、本年よりモデル地区内において加工が再開され、全量非破壊検査を経て、基準値以内の製品のみ市場に出荷されてい

ます。とろりと甘い「福島のおあんぼ柿」は消費者、市場関係者からの評価も高く、産地復活を喜ぶ声が寄せられております。町は風評払拭とおいしさ

を知っていただくため、独自にトップセールスを行うほか、県や出荷団体等と連携を図り市場求評等を行っています。

【平成25年12月5日～平成26年1月25日の検査結果】

	測定下限値未満 (25 Bq / kg 未満)	スクリーニングレベル以下 (25 ～ 50Bq / kg)	スクリーニングレベル超過 (50Bq / kg 超過)	合計
検査トレー数	116,792	13,880	112	130,784
割合	89.30%	10.61%	0.09%	100%

☆検査は、食品中の放射性セシウムスクリーニング法に準拠したあんぼ柿専用の非破壊検査機器により実施しています。

☆放射性セシウムは、セシウム134とセシウム137の合計値を示しています。

☆「検査トレー数」には一部伊達市内において加工された製品を含んでいます。